

＝ 会 告 ＝

講演会・見学会等の開催予定

2019年5月20日現在

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2019年7月 1日(月)～ 3日(水)	2019年 3月8日(金)	2019年 5月10日(金)	第51回流体力学講演 会/第37回航空宇宙数 値シミュレーション技 術シンポジウム	東京都	宇宙航空研究開 発機構	空気力学部 門委員会	67巻2号 会告4頁参照
2019年8月 7日(水)～ 9日(金)	2019年 3月14日(木)	2019年 5月31日(金) 若手奨励賞応 募者は 4月26日(金)	第61回構造強度に関す る講演会	長野市	日本機械学会, 宇宙航空研究開 発機構,信州大 学(予定)	構造部門委 員会	67巻2号 会告2頁参照
2019年10月 16日(水)～ 18日(金)	2019年 5月31日(金)	2019年 8月16日(金)	第57回飛行機シンポジ ウム	山口県下 関市	日本航空技術協 会	空気力学, 材料,構造, 機器・電子 情報システ ム,飛行力 学,生産機 械,航空機 設計,特殊 航空機,回 転翼航空機 運航・整備, 原動機・推 進,航空交 通管理の 12部門委 員会	67巻5号 会告2頁参照
2019年11月 6日(水)～ 8日(金)	2019年 6月7日(金)	2019年 8月5日(月) 17:00	第63回宇宙科学技術連 合講演会	徳島県	予定)宇宙航空 研究開発機構, 強化プラスチ ック協会,生態 工学会,生命の 起原および進 化学会,地球電 磁気・地球惑 星圏学会,電 気学会,日本 機械学会,日 本文学会,日 本赤外線学会, 日本惑星科学 会	宇宙利用部 門委員会	67巻5号 会告3頁参照
2019年11月 30日(土)	2019年 8月30日(金)	2019年 10月31日(木)	日本航空宇宙学会 西部支部講演会(2019)	大分市		西部支部	67巻6号 会告3頁参照
2020年9月 14日(月)～ 18日(金)	2019年 7月15日(月)	2020年 6月1日(月)	第32回国際航空科学会 議上海大会(ICAS2020)	中国 (上海)			67巻5号 会告4頁参照

会員数 (平成31年4月現在)

資格 摘要	正会員	学生 会員	名誉 会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
4月会員数	3241	991	50	0	60
3月会員数	3243	1000	50	0	60
差 引 増 減	-2	-9	0	0	0

新入会員名簿正会員 (敬称略)

野田晋二 (第一工業大学), 舟生豊朗 (三菱電機(株)), 林健太郎 (三菱重工業(株)), 原崎俊栄 (防衛装備庁), 岸信夫 (三菱エンジニアリング(株)), 坂田岳洋 (日本ケミコン(株)), 川島誠一 (シスコシステムズ合同会社), 須田広志 (知多メディアネットワーク(株)), 三島伸一 (日本電気(株)), 浦久保孝光 (神戸大学), 小林正和 (中村合同特許法律事務所), 中本亜紀 (慶應義塾大学), 関 克哉 ((株)SUBARU), 吉年龍雄 (櫃原電機(株)), 村田真哉

(宇宙航空研究開発機構), 伊藤 誠 (金沢大学), 古本政博 (首都大学東京)

新入会員名簿学生会員 (敬称略)

星 律哉 (東北大学 院), 吉田慎之介 (首都大学東京), 坂本広樹 (東北大学), 室原昌弥 (東京大学 院), 金子泰 (東京農工大学), 横井寿哉 (早稲田大学 院), 鈴木雄貴 (九州工業大学), 梶原克弥 (九州大学 院), 馬 祥 (東京農工大学), 藤井 謙 (慶應義塾大学), 包 景軒 (神奈川大学), 川島勇斗 (横浜国立大学 院), 崎田紘孝 (東京大学 院), 今井雅人 (東京農工大学 院), 関 陽子 (広島大学 院), 工藤福太 (首都大学東京), 島崎拓巳 (神奈川大学), 半田圭佑 (群馬大学 院), 河合達樹 (名城大学 院), 千葉奎耀 (秋田工業高等専門学校), 木村龍一 (電気通信大学), 石井翔太 (群馬大学 院), 佐藤悠司 (東北大学 院), 鈴木拓実 (名古屋大学), 安城 逸 (帝京大学), 福田有真 (都立産業技術高等専門学校)

一般社団法人 日本航空宇宙学会 第 50 期 (2018 年度) 定時社員総会 報告

一般社団法人日本航空宇宙学会の第 50 期定時社員総会は、2019 年 4 月 19 日(金) 9 時 30 分より、東京大学生産技術研究所において開催されました。代議員出席者は、本人出席 20 名、委任状による出席 25 名の合計 45 名で、代議員総数 60 名の過半数 (31 名以上) を満たし、定時社員総会は成立しました。

下記の議案について担当理事から説明があり、議案書のとおり可決承認されました。

[議案 1 号] 2018 年度 (第 50 期) 事業報告について

[議案 2 号] 2018 年度 (第 50 期) 決算報告と監査報告について

[議案 3 号] 2019 年度 (第 51 期) 理事の選任について

[議案 4 号] 2019 年度 (第 51 期) 監事の選任について

[議案 5 号] 2018 年度 (第 50 期) 名誉会員の推挙について

議案の可決承認の後、理事会が開催され、代表理事 (会長、筆頭副会長)、業務執行理事 (副会長、筆頭庶務理事) の選定が行われました。理事会終了後、「会員の集い」が開催され、学会賞の授与、第 51 期 (2019 年度) 役員の紹介、新旧会長、新筆頭副会長および副会長の挨拶が行われました。

なお、第 50 期事業報告および決算報告は、ホームページに掲載しています。

重要

2019 年 6 月

日本航空宇宙学会会員の皆様へ

日本航空宇宙学会 渡辺重哉

論文編集委員会委員長 寺本進

欧文論文集 Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences

のオープンジャーナル化について

日本航空宇宙学会は、航空宇宙に関する学理および応用の研究についての発表および連絡、知識の交換、情報の提供を目的としており、論文集の発行は研究成果を発信手段として学会の中心事業の一つです。近年、論文の国際的発信力や流通力の強化、さらには学術情報を制約なく流通させることによる学術研究の発展という観点からオープンアクセスの流れが加速しています。また、科研費をはじめとする公的な研究資金を用いた研究成果については、研究者コミュニティはもとより、広く社会からのアクセスや利用を可能してその成果を社会に還元するため、オープンアクセス化が強く要請されております。

このような社会の要請に応えつつ、さらに魅力ある論文誌とするために、これまで掲載から 1 年間は会員限定公開としていた欧文論文集 (Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences) を、2019 年 7 月 1 日よりオープンアクセス化し、発刊後ただちに誰でも閲覧・ダウンロード可能にすることといたしました。オープンジャーナル化は、グローバルなアクセスの機会を増やし、認知度やインパクトファクターの向上が期待されるとともに、論文を投稿する著者にとっても研究成果の情報発信力向上につながるものであり、会員の皆様のサービス向上になる改革であると考えております。

会員の皆様のご理解を賜るとともに、本会論文誌をご自身の研究・事業にご活用いただけますと幸いに存じます。

日本航空宇宙学会西部支部講演会(2019) 講演募集のお知らせ

主 催： 日本航空宇宙学会西部支部

開催日： 令和元年 11 月 30 日 (土)

会 場： J:COM ホルトホール大分

〒870-0839 大分県大分市金池南一丁目 5
番 1 号 <http://www.horutohall-oita.jp/>

講演申込締切： 令和元年 8 月 30 日 (金)

前刷原稿締切： 令和元年 10 月 31 日 (木)

開催要領：

- (1) 1 講演につき講演 15 分, 質疑応答 5 分(予定).
- (2) 講演集原稿は A4 サイズ 4~6 ページ. 原稿執筆要領は西部支部 Web ページに掲載.
- (3) 学生優秀講演賞 (対象は日本航空宇宙学会学生会員のみ) を設けるので, 学生発表者で審査希望者は申込み時に会員番号を添えて応募のこと. 学会未加入の学生で審査希望者は申込み前に学会加入のこと.
- (4) 講演会終了後に懇親会および学生優秀講演

賞授賞式を開催.

申込方法： 下記の西部支部 Web ページよりお申し込みください. お申し込みの際には, 講演申込み, 懇親会参加等に関して必要事項をご記入ください. 本講演会の詳細は下記の西部支部 Web ページに順次掲載してまいりますので, 適宜ご確認ください. なお, 講演集原稿は電子投稿して頂く予定です.

<https://branch.jsass.or.jp/west/>

問合せ先：

日本航空宇宙学会西部支部 事務局
庶務幹事 藤田 浩輝

〒870-0397 大分県大分市一木 1727

日本文理大学 工学部 航空宇宙工学科内
電話：097-524-2676

E-mail：jsasswest@jsass.or.jp

関西支部 第 472 回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会関西支部

共催：京都大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻

日時：2019 年 7 月 12 日 (金曜日) 15:00~17:00

会場：京都大学桂キャンパス C クラスター C3 棟 1 階
講義室 1 (b1N01 室)

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3 棟

交通アクセス・地図は下記 URL をご参照ください.

<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access/katsura>

<https://www.aa.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access>

講演

1: 「航空機の構造開発・設計の実際」

航空機の構造設計においては, 強度・剛性・重量だけでなく, 耐環境性・コスト・整備性等多くの設計要件が考慮される. 本講演では, 実際の航空機開発・設計の現場においてどのように構造設計がなされているかを, 国産完成機である P-1 固定翼哨戒機・C-2 輸送機の開発初期から開発完了に到るまでの事例や他の航空機の構造設計事例を交えて紹介する.

川崎重工株式会社 航空宇宙システムカンパニー
防衛宇宙プロジェクト本部
哨戒機・輸送機設計部 構造設計一課
足立 晋也 氏

2: 「大気圧プラズマの航空宇宙関連応用と分光計測」

高気圧 (大気圧) 環境下におけるプラズマ生成・制御技術は 21 世紀に大いに発展し, 材料プロセスから医療・農業に至る幅広い応用研究が進んでいる. 航空宇宙産業に関わる分野では, 流体制御や燃焼効率向上の実現が期待されている. 本講演では, これらの大気圧プラズマ技術を解説するとともに, 講演者が取り組んできた大気圧プラズマの分光計測研究について紹介する.

京都大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻
占部 継一郎 助教

参加費： 無料 *参加は学会員に限りません. 周りの方や学生の皆様にもお伝え下さい.

参加登録： 会場の準備の都合上, 参加ご希望の方は,
①氏名 ②所属 ③役職 を 7 月 5 日 (金) までに
下記事務局までご連絡ください.

問合せ先：

〒680-8552 鳥取市瑚山町南 4-101

鳥取大学大学院工学研究科 機械宇宙工学専攻内

日本航空宇宙学会 2019 年度関西支部事務局

<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>

TEL: 078-803-6126 (田川)

E-mail: jsass.kansai2019@ml.mech.tottori-u.ac.jp

第 57 回飛行機シンポジウム一般講演／学生講演募集

主催：

日本航空宇宙学会および日本航空技術協会

企画：

空気力学, 材料, 構造, 機器・電子情報システム, 飛行力学, 生産技術, 航空機設計, 特殊航空機, 回転翼航空機, 航空機運航・整備, 原動機・推進, 航空交通管理の 12 部門委員会および日本航空技術協会

会場：

山口県下関市 海峡メッセ下関 国際貿易ビル
〒750-0018 山口県下関市豊前田町3丁目3番1号
Tel: 083-231-5600, Fax: 083-231-5598
<http://www.kaikyomesse.jp/>
JR 下関駅から徒歩約 7 分

講演内容：

一般講演および学生講演

分野：

空気力学, 材料, 構造, 機器・電子情報システム, 飛行力学, 生産技術, 航空機設計, 特殊航空機, 回転翼航空機, 航空機運航・整備, 原動機・推進, 航空交通管理の中から選択

講演申込方法：

日本航空宇宙学会ホームページ (<http://www.jsass.or.jp/>) を開き, 左側の「講演会」→「講演会申込み」→「第57回飛行機シンポジウム」より, ログイン ID とパスワードを入力した後, 画面の指示に従って申込みを行ってください. ログイン ID とパスワードが未登録の方または忘れてしまった方は, 同ページの「新規登録」より申込前に取得してください. 学会ホームページが使用できない場合は, 「問い合わせ先」までご連絡ください. なお, 本シンポジウムの趣旨に添わない内容であると判断された場合には, 講演をご遠慮願うことがありますのでご了承ください.

申込締切：

2019 年 5 月 31 日(金)午後 5 時

講演予稿集原稿：

講演申込みの後, 講演予稿集用の電子ファイルを PDF 形式で作成し, 第 57 回飛行機シンポジウムホームページよりアップロードしてください. 執筆要領は飛行機シンポジウムホームページよりダウンロードしてください.

原稿締切：

2019 年 8 月 16 日(金)午後 5 時

講演要領：

- 会場ではスライド上映用の PC は準備しておりません. PC につきましてはご持参されますようお願いいたします. なお, プロジェクタはミニ D-Sub15 ピン端子 (VGA コネクタ) 接続のみです.
- 一般講演の講演時間は 1 題目につき, 講演 15 分, 討論 5 分, 計 20 分とします.
- 学生講演については, 著者は単名で博士課程前期まで, かつ講演申し込み時に学生会員の方に限るものとします. また, 講演時間は講演 10 分, 討論 5 分, 計 15 分とします. なお, 優秀な講演発表者には学生講演賞が授与されます. 授賞式は飛行機シンポジウム懇親会において開催され, 受賞者には無料で懇親会への出席をお願いすることとなりますので予めご了承ください.

参加登録料*：

正会員：12,000 円, 学生会員：6,000 円
非会員：18,000 円, 学生非会員：9,000 円

※プログラム冊子, 講演予稿集 CD-ROM 代金を含む. 懇親会参加料含まず. HP 事前参加登録割引あり.

問い合わせ先：

日本航空宇宙学会事務局
Tel: 03-6262-5313, Fax: 03-6262-5314

E-mail: 57th_aircraft_symposium@jsass.or.jp

シンポジウムに関する諸事項の詳細等に関しては, 下記ホームページをご覧ください.

第57回飛行機シンポジウムホームページ
<https://branch.jsass.or.jp/rotcom/as57>

広告の募集：

プログラム冊子への広告掲載を募集します. ご希望の方は上記「問い合わせ先」までご連絡ください. 詳細情報をご連絡いたします.

APISAT2019 について

2019 Asia-Pacific International Symposium on Aerospace Technology (APISAT2019) が, 日韓中豪 4 カ国の航空宇宙学会の共催により, オーストラリア・ゴールドコーストで 2019 年 12 月 4 日～6 日に開催されます. 詳細は, 別途学会ホームページに告示する会告をご覧ください.

第51回流体力学講演会／
第37回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム
51st Fluid Dynamics Conference／
37th Aerospace Numerical Simulation Symposium

- 主催：** 日本航空宇宙学会, 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
- 協賛：** 日本流体力学会, 日本機械学会, 日本風工学会, 可視化情報学会, 日本ガスタービン学会, 情報処理学会, 日本燃焼学会, 日本応用数理学会
- 開催日：** 2019年7月1日(月)～3日(水)
- 会場：** 早稲田大学 早稲田キャンパス 国際会議場
(〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1丁目 20 番 14 号
<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>)
- 参加登録料：**
- | | |
|------------|---------|
| 正会員(主催・協賛) | 8,000円 |
| 非会員 | 11,000円 |
| 学生(会員) | 3,000円 |
| 学生(非会員) | 5,000円 |
- (事前WEB登録[6月20日(木)まで]にご協力お願い致します.)
当日登録は各2,000円増しになります.
- 講演集：** CD-ROM講演集は参加登録者全員に1部ずつ配布します
- 特別講演：** 7月2日(火)
「Advanced Simulation of Turbulent Flows: UQ, Data Assimilation and Learning-based Approaches」 Professor Pierre Sagaut (Aix-Marseille Université)
- 7月3日(水)
「流れに誘われて」川添 博光 教授(鳥取大学)
「超音速旅客機と空力研究に魅せられて」吉田 憲司 前航空プログラムディレクタ (JAXA)
- 特別企画：** FDC/ANSS 合同企画 1)「高レイノルズ数流れと空気力学」
FDC/ANSS 合同企画 2)「航空宇宙流体データ科学の新展開」
FDC/ANSS 合同企画 3)「低レイノルズ数流れ」
FDC/ANSS 合同企画 4)「革新回転翼機・eVTOL 機の空力的課題」
FDC/ANSS 合同企画 5)「空力音の予測と低減」
FDC/ANSS 合同企画 6)「民間超音速機実現のための空力設計技術」
ANSS1)「航空機開発のための多分野総合シミュレーション」
ANSS2)「宇宙輸送を支えるシミュレーション」
ANSS3)「複雑形状の高精度 CFD 解析」
FDC1)「先進流体計測技術」
FDC2)「デトネーションおよび圧縮性反応流の応用」
ワークショップ “Fifth Aerodynamics Prediction Challenge (APC-V)”
- 懇親会：** 日 時 7月2日(火)18:30～20:30
場 所 リーガロイヤルホテル東京 2階「ダイヤモンド」
会 費 5,000円(学生は3,000円)
申込方法 事前WEB登録[6月20日(木)まで]を先着で優先します。当日申込は1,000円増し(6,000円, 学生は4,000円)です。
- 表彰：** 優れた研究発表2件と学生発表の優秀講演複数件に表彰を行います。
優れた研究発表, 学生発表表彰とも, 後日通知する予定です。
- ホームページ：** <https://branch.jsass.or.jp/aerocom/ryu/ryu51/>

【有料会告】

金沢大学 理工研究域 フロンティア工学系 教員公募 (女性限定)

1. 公募人員： テニュアトラック助教(女性) 1名
2. 所属： 理工研究域 フロンティア工学系
<http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/frontier/index.html>
3. 専門分野： 飛行制御や航空機力学を中心とした、航空工学分野で研究・教育できる方。先進モビリティに興味のある方。着任後は【価値創造に貢献する計測制御技術の開拓】研究課題グループに所属し、航空宇宙システム研究室の教員と協力して当該分野の研究を展開して頂きます。
4. 教育担当： 理工学域 フロンティア工学類、機械工学類
大学院自然科学研究科博士前期課程 機械科学専攻
5. 担当科目： 学類・大学院での上記専門分野に関する科目、ならびに、製図、実験・演習などの科目(英語による授業を担当していただく場合があります)。
6. 勤務形態： 任期付き常勤助教(任期5年)
テニュア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。本学テニュアトラック制度の規定については、下記 URL をご覧ください。
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/04/tenure.pdf>
※研究経費として初年度 80 万円程度を措置する予定
7. 給与： 文部科学省における新たな年俸制の枠組みを踏まえ、新年俸制を導入し適用する予定です。
8. 応募資格： 着任時に博士の学位を有する女性研究者。博士の学位取得が見込みの場合、その時期を明記すること。
研究、教育に熱意を有し、産学連携等への積極性があること。
※「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための経過措置として女性に限定した公募を実施します。
9. 着任時期： 2019年10月1日以降のできる限り早い時期
10. 提出書類：
 - (1) 履歴書(写真添付、現住所、連絡先[電話番号、メールアドレス]、学歴、職歴、所属学会、賞罰等)。
 - (2) 研究業績(査読付原著論文、国際会議プロシーディングス、著書、解説、特許等に分類し、共著者名、発表機関、巻(号)、最初と最後のページ、著者、発表年月等を記載すること)。
 - (3) 学会および社会における活動。
 - (4) 科学研究費補助金、受託研究、共同研究、寄附金などの外部資金の獲得状況。
 - (5) 教育・研究に対する抱負。
 - (6) これまでの研究活動および教育活動とその状況(A4用紙、書式任意、1000字程度)。
 - (7) 応募者に関して意見を伺える方1名の氏名、所属、連絡先(電話番号およびメールアドレス)。
 - (8) 主要論文の別刷(3編以内、コピー可)。★上記項目(1)~(5)については、下記 URL に掲載されている「個人調書」に記入の上、応募してください。
(6)~(8)は別紙となります(書式任意)。
<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/researcher/koubo.html>
★上記全ての書類の電子データ(pdf、word ファイル等)を CD-ROM や USB メモリ等の記録メディアにコピーして同封してください。
11. 応募締切： 2019年6月28日(金) 必着。
12. 選考方法： 第一次審査：書類審査
第二次審査：面接(プレゼンテーション、英語での模擬授業等)
(面接のための旅費支給はありません)
13. 書類提出先：〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学理工研究域フロンティア工学系 教授 田中志信
14. 問合せ先： 〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学理工研究域フロンティア工学系 教授 得竹浩
電話：076-234-4951 メール：tokutake@se.kanazawa-u.ac.jp
15. その他：
 - (1) 応募書類は、封筒表面に「航空宇宙システム研究室教員公募書類」と朱書きの上、簡易書留にて郵送してください。なお、応募書類は原則として返却しません。なお、応募に関する個人情報は、本件の選考以外の目的には一切使用しません。
 - (2) 詳細は http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/researcher/jinji/20190628_fro2_tt.pdf をご覧ください。

【有料会告】

九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門教員公募

1. 公募人員 准教授または助教1名
2. 所 属 航空宇宙機構強度講座
3. 教育研究分野 構造力学，構造強度，構造振動，熱弾性，空力弾性，最適構造設計などの分野を専門とし，航空宇宙工学に関する教育を行うことができる方。
4. 講義科目 学 部：弾性力学，構造力学，構造振動学，航空宇宙機振動学，航空宇宙機設計製図などのうちいくつか
大学院：空力弾性学，熱弾性解析，数値構造力学，最適構造システム学などのうちいくつか
5. 応募資格 博士の学位を有し(取得見込みを含む)，上記の教育研究分野に関して意欲，実績，指導能力があり，教育熱心な方。
6. 着任時期 採用決定後の早い時期
7. 任 期 常勤(任期なし)
8. 応募書類 (1) 履歴書(写真添付，学歴，職歴，研究歴，E-mail，電話番号などの連絡先を明記)
(2) 研究業績および目録(学術論文，国際会議 Proceedings，著書・編著書，総説・学術資料等，その他(掲載決定論文等)に区分，代表的な論文5編の別刷り各1部(コピー可)を添付のこと)
(3) その他の業績(特許・発明・考案等)
(4) 教育実績(公開講座，社内教育，学内教育補助等を含む)
(5) 所属学協会およびその学協会での活動歴
(6) 社会貢献実績
(7) 受賞歴
(8) 外部資金獲得実績(科学研究費，共同研究・受託研究・その他の研究費)(代表者のみ)
(9) これまでの主要研究の概要(2,000字以内)
(10) 今後の研究計画(2,000字以内)
(11) 教育と研究についての抱負(1,000字以内)
(12) 応募者について意見を伺える方，1名以上の氏名，所属および連絡先
なお，応募書類は返却しませんので，ご了承ください。
9. 公募締切 2019年10月1日(火) 必着
10. 選考方法 第1次は書類審査を実施し，合格者に対する第2次審査はプレゼンテーションおよび面接により行う(面接の際の旅費は支給しません)。
11. 応募書類送付先および問い合わせ先
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門 部門長 教授 花田俊也
電話：092-802-3047 ファックス：092-802-3001
E-mail: koubo_3022@aero.kyushu-u.ac.jp
※「応募書類在中」と朱書し，簡易書留にて郵送してください。
12. その他 (1) 航空宇宙工学部門の詳細は，<http://www.aero.kyushu-u.ac.jp/> を参照ください。
(2) 提出書類に含まれる個人情報，選考及び採用以外の目的には使用いたしません。
(3) 九州大学では，男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の精神に則り，教員の選考を行っています。

【有料会告】

九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門教員公募

1. 公募人員 教授 1 名
2. 所 属 航空宇宙機構造強度講座
3. 教育研究分野 構造力学, 材料強度, 材料開発, 製造プロセス, 構造設計などの分野を専門とし, 航空宇宙工学に関する教育を行うことができる方.
4. 講義科目 材料力学, 構造材料, 設計製図などに関連する科目
5. 応募資格 博士の学位を有し, 上記の教育研究分野に関して意欲, 実績, 指導能力があり, 教育熱心な方.
6. 着任時期 採用決定後の早い時期
7. 任 期 常勤 (任期なし)
8. 応募書類 (1) 履歴書 (写真添付, 学歴, 職歴, 研究歴, E-mail, 電話番号などの連絡先を明記) (2) 研究業績および目録 (学術論文, 国際会議 Proceedings, 著書・編著書, 総説・学術資料等, その他 (掲載決定論文等) に区分, 代表的な論文 5 編の別刷り各 1 部 (コピー可) を添付のこと) (3) その他の業績 (特許・発明・考案等) (4) 教育実績 (公開講座, 社内教育を含む) (5) 所属学協会およびその学協会での活動歴 (6) 社会貢献実績 (7) 受賞歴 (8) 外部資金獲得実績 (科学研究費, 共同研究・受託研究・その他の研究費) (代表者のみ) (9) これまでの主要研究の概要 (2,000 字以内) (10) 今後の研究計画 (2,000 字以内) (11) 教育と研究についての抱負 (1,000 字以内) (12) 応募者について意見を伺える方, 1 名以上の氏名, 所属および連絡先
なお, 応募書類は返却しませんので, ご了承ください.
9. 公募締切 2019 年 8 月 26 日 (月) 必着
10. 選考方法 第 1 次は書類審査を実施し, 合格者に対する第 2 次審査はプレゼンテーションおよび面接により行う (面接の際の旅費は支給しません).
11. 応募書類送付先および問い合わせ先
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地 九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門
部門長 教授 花田俊也 ※「応募書類在中」と朱書し, 簡易書留にて郵送してください.
電話: 092-802-3047, E-mail: koubo_3021@aero.kyushu-u.ac.jp

本会共催・協賛・後援行事

第 27 回衛星設計コンテスト

主 催: 日本機械学会, 日本航空宇宙学会, 電子情報通信学会, 地球電磁気・地球惑星圏学会, 日本天文学会, 宇宙航空研究開発機構, 宇宙科学振興会, 日本宇宙フォーラム, 日本ロケット協会
後援 (予定): 内閣府宇宙開発戦略推進事務局, 文部科学省, 総務省, 経済産業省, 防衛省, 外務省
参加登録受付: 2019 年 4 月 1 日 (月) ~ 5 月 15 日 (水)
作品応募締切: 2019 年 6 月 24 日 (月)
最終審査会: 2019 年 11 月 9 日 (土)
最終審査会会場: アスティとくしま (徳島市)
コンテスト参加登録料: 3,000 円
問合せ先: 日本宇宙フォーラム内 衛星設計コンテスト事務局
TEL: 03-6206-4902
FAX: 03-5296-7010
E-mail: satconjimu@jsforum.or.jp

第 49 回信頼性・安全性シンポジウム

主 催: 日本科学技術連盟
協賛 (予定): 情報処理学会, 日本品質管理学会, 日本電子部品信頼性センター, 日本航空宇宙学会 他
開催日: 2019 年 7 月 18 日 (木), 19 日 (金)
会 場: 日本教育会館 (東京都千代田区)
参加費: 会員 (協賛学会会員を含む) 36,000 円, 一般 38,000 円, 学生 5,000 円
問合せ先: 日本科学技術連盟 49R & MS 担当
TEL: 03-5378-9850
FAX: 03-5378-9842
E-mail: re-group@juse.or.jp

日本混相流学会 混相流シンポジウム 2019

主 催: 日本混相流学会
協賛 (予定): 化学工学会, 可視化情報学会, 空気調和・衛生工学会, 計測自動制御学会, 資源・素材学会, 石油学会, 土木学会, 農業農村工学会, 日本ウォータージェット学会, 日本エ

アロゾル学会, 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本航空宇宙学会, 日本材料学会, 日本船舶海洋工学会, 日本伝熱学会, 日本冷凍空調学会, 日本バイオレオロジー学会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本フルードパワーシステム学会, 日本流体力学会, 紛体工学会, 日本雪氷学会, 日本雪工学会, 日本液体微粒化学会 他
開催日: 2019 年 8 月 5 日 (月) ~ 7 日 (水)
会 場: 福岡大学 (福岡市城南区)
参加費: (事前) 正会員・協賛学協会会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 5,000 円, (当日) 正会員・協賛学協会会員 12,000 円, 非会員 20,000 円, 学生会員 7,000 円
問合せ先: 福岡大学工学部化学システム工学科内
日本混相流学会 混相流シンポジウム 2019 実行委員会事務局 (松隈洋介)
E-mail: konsosymp@jsmf.gr.jp

第 50 期 学会主催 講演会/シンポジウム 優秀講演賞・優秀発表賞 (敬称略)

第 50 回流体力学講演会/第 35 回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム 2018 年 7 月 4 日(水)～6 日(金)

■最優秀賞 流体力学部門

- ・川崎 央、笠原 次郎、稲川 智也、松岡 健 (名古屋大学)、川島 秀人 (JAXA)、松尾 亜紀子 (慶應義塾大学)、船木 一幸 (JAXA)

題目：回転 detonation ロケットエンジンの内筒が推力性能に与える影響に対する実験的検討

■最優秀賞 数値シミュレーション部門

- ・大道 勇哉 (JAXA)、小林 憲司・金崎 雅博 (首都大学東京)

題目：大規模非定常データに対する特徴構造抽出法の開発と大気突入カプセル後流解析への適用

◆優秀発表賞 3 名

- ・藤本 剛史 (横浜国立大学)

題目：画像処理法の導入による低コストで問題依存性のない衝撃波検知法の開発

- ・山田 健翔 (東京大学)

題目：バブル型渦崩壊現象の軌道構造とテンソル不変量に関する考察

- ・南海 昂輝 (東北大学)

題目：翼周り流れ場の非定常 PIV 計測データに基づく低次元線形モデル構築に関する研究

第 60 回構造強度に関する講演会 2018 年 8 月 1 日(水)～ 3 日(金)

■若手奨励賞 2 名

- ・大塚 啓介 (東北大学)

題目：全体座標表現に基づく柔軟展開翼の 3 次元マルチボディ解析法の開発

- ・久田 深作 (東京大学)

題目：繊維強化型クラックアレスタを用いた複合材 T-joint の損傷許容性向上

第 62 回宇宙科学技術連合講演会 2018 年 10 月 24 日(水)～ 26 日(金)

■若手奨励賞 最優秀論文賞

- ・山口 皓平 (名古屋大学)

題目：小天体衝突機の軌道変更効果を可視化する Impact Geometry Map の提案

■若手奨励賞 優秀論文賞

- ・前田 孝雄 (中央大学)

題目：微小重力天体における着陸ダイナミクス解析のためのレゴリスシミュラントを用いた真空微小重力実験

- ・有田 祥子 (静岡大学)

題目：立方体展開による新たな展開宇宙構造システムの提案と熱・構造特性の調査

■学生セッション 最優秀賞

- ・設楽 翔一 (日本大学)

題目：自己展開膜面トラスを用いたスターシェードの形状

◆優秀発表賞 6 名

- ・佐藤 陽亮 (横浜国立大学)

題目：小型マイクロ波放電式中和器内部を対象とした電子輸送過程の 3 次元粒子計算

- ・長瀬 友佑（東京理科大学）
題目：超小型衛星による地球観測のための汎用的な露光調整手法の提案
- ・近澤 拓弥（東京大学）
題目：地球-月系ラグランジュ点における朔望周期軌道の日陰特性
- ・田中 聖也（東京大学）
題目：レゴリスからのアルミニウムおよび酸素の獲得を目指したCWレーザーアブレーションによるアルミナ還元
- ・松尾 慧司（首都大学東京）
題目：重力天体への軟着陸を実現する衝撃吸収用ポラス金属の設計
- ・村田 裕亮（東京大学）
題目：エアロキャプチャによる抗力制御を用いたロバストな火星周回軌道投入のための軌道設計手法の研究

第56回飛行機シンポジウム 2018年11月14日(水)～16日(金)

■学生優秀講演賞 1名

- ・太田恭平（名古屋大学）
題目：推力偏向による舵面を用いない小型Tail-Sitter UAVの水平飛行制御

第59期航空原動機・宇宙推進講演会 2019年3月6日(水)～8日(金)

■若手優秀講演賞

- ・立石 敦（東京大学）
題目：決定論的非定常性に起因する流束をモデル化した動静翼列接続手法の構築と評価

■学生優秀講演賞

- ・松本 圭介（早稲田大学）
題目：ロケット用ターボポンプにおけるバランスピストン機構の流量特性予測
- ・李 允台（東京大学）
題目：翼列解析に向けたLES解析コードの開発と検証
- ・岩崎 祐介（東京大学）
題目：サイクル解析に基づく航空機電動化の検討

第50期年会講演会 2019年4月18日(木)～19日(金)

■若手優秀講演賞 該当者なし

◆学生優秀発表賞 4名

- ・佐藤 陽亮（横浜国立大学）
題目：小型マイクロ波放電式中和器を対象とした電子引き出し特性の磁場形状依存解析
- ・小島 良実（東京農工大学）
題目：Embedded-LESによるスラット周り流れの数値計算
- ・高瀬 諒一（東京大学）
題目：航空機のPID制御器設計における構造化 H_∞ 制御の応用
- ・西尾 真之（鳥取大学）
題目：火星探査ローバのヒンジ型重心移動機構を用いた段差乗り越え動作の検討

一般社団法人 日本航空宇宙学会第51期役員名簿

歴代会長

山内 正男	林 毅	曾田 範宗	上山 忠夫	疋田 徹郎	中口 博	岡崎 卓郎	浅沼 強	河崎 俊夫	河村 龍馬
鷲津久一郎	森 大吉郎	武田 峻	河田 幸三	小林 繁夫	長洲 秀夫	砂川 恵	相原 康彦	東 昭	五代 富文
竹内 和之	秋葉謙二郎	高島 一明	辛島 桂一	加藤寛一郎	小早川真也	荻野 三郎	佐藤 淳造	松尾 弘毅	久保田弘敏
近藤 恭平	戸田 勸	高山 和喜	的川 泰宣	河野 通方	長島 利夫	小野田淳次郎	上田 哲彦	河内 啓二	石川 隆司
中橋 和博	中道 二郎	鈴木 真二	川口淳一郎	李家 賢一	上野 誠也	青木 隆平	澤田 恵介	渡辺 紀徳	大林 茂

第51期 役員

会 長 :	渡辺重哉	筆頭副会長 :	松尾亜紀子	副 会 長 :	荻巣敏充		
庶 務 理 事 :	青木雄一郎	丹野英幸	園田精一	小木曾望	趙 孟 佑	中北和之	吉本 稔
会 計 理 事 :	小泉宏之	玉山雅人					
広 報 理 事 :	田中宏明						
編 集 理 事 :	河野 功 (会誌)	寺本 進 (論文)					
監 事 :	嶋 英志	伊藤 健					

第51期 代議員

安部雅勝	伊海田皓史	石田卓也	石津陽平	石原咲子	小國秀行	北 光一	久保田勇希	杉村伸雄	鈴木大晴
田中啓志	中村悠志	新井山一樹	野村武弘	保江かんな子	青木雄一郎	有菌 仁	飯島朋子	石崎真一郎	今村太郎
加納康仁	小泉宏之	阪本恵隆	白石紀子	鈴木幸生	田中宏明	谷 直樹	寺本 進	中北和之	福地亜宝郎
福元克俊	山根章弘	山本研吾	横関智弘	吉本 稔	饗庭昌行	浅子知昭	伊藤 健	内山直樹	荻巣敏充
生越博景	海田武司	開沼史和	河野 功	岸本直子	小木曾望	佐宗章弘	嶋 英志	真保雄一	杉村文隆
園田精一	谷 泰寛	玉山雅人	丹野英幸	趙 孟 佑	中尾雅弘	張替正敏	松尾亜紀子	吉田和哉	渡辺重哉

第51期 広報委員長・編集委員長及び委員

広 報 委 員 長 : 田中宏明
 津島夏輝 金崎雅博 中谷辰爾 横山信宏 伊藤琢博

会誌編集委員長 : 河野 功

鈴木宏二郎	岩川 輝	小木曾望	内田英樹	萩原慎二	加藤久弥	住谷泰人	藤原 健	今村満勇
加納康仁	齊藤信雄	関根尚之	井戸田典彦	橘 佳宏	藤田将一郎	生越博景	松並孝次	石井啓之
小曳 昇	漆間 統	山根章弘	村岡浩治	蔭山康太	アンドレエバ森アドリアナ	宇井恭一	下田孝之	
舟生豊朗	城井洋生	豊嶋守生	壹岐賢太郎	竹ヶ原春貴	小島康平	稲守孝哉	岩佐貴史	矢代茂樹
溝端一秀	大山 聖	稲澤 歩	江本一磨	下村 怜	三原裕介	河野 麗		

論文集編集委員長 : 寺本 進

阿部浩幸	田辺安忠	菊池崇将	越智章生	山口裕美子	小柳 潤	宮木博光	アンドレエバ森アドリアナ
秋田 剛	安部明雄	中西洋喜	渡辺武夫	山本高行	高橋賢一	加藤周徳	西山和孝 山本 剛
稲守孝哉	大和田拓	矢代茂樹	高山佳久				

第51期 部門委員長及び委員 (○委員長 △幹事)

空 気 力 学	○ 鈴木宏二郎	△ 金森正史	加藤宏基	村橋慶紀	安倍賢一	西村信祐	李家賢一	野々村拓
	小池俊輔	大和田拓	江上泰広	水書稔治	小川博之	岩川 輝	中北和之	
構 造	○ 小木曾望	△ 有菌 仁	内田英樹	中井賢治	門岡啓介	永井弘人	三宅重之	関 克哉
	水口 周	東海林和典	屋宮拓海	梅沢啓佑	長慶太郎	直井太郎	勝又伸久	
材 料	○ 萩原慎二	△ 加藤久弥	青井達治	宇田道正	石川 力	阪西真美	後藤亜希	
	酒井 孝	鈴掛晋也	関根尚之	小林良之	矢代茂樹	吉村彰記	西川雅章	
電子・電子 情報システム	○ 住谷泰人	△ 藤原 健	板倉州優	奥山貴之	加藤博司	川崎繁男	齊藤真二	高橋教雄
	丹野和信	辻井利昭	西川育人	羽部仁司	濱田真悟	早川正翁	平賀好文	三田 信
原動機・推進	○ 今村満勇	△ 藤本 秀	小島孝之	中谷辰爾	加納康仁			
	前里 晃	東 和弘	坂本数貴	木村竜也	小林弘明			
生 産 技 術	○ 齊藤信雄	△ 関本尚之	甲田壮一	伊藤俊彦	福岡照城	足立修一		

飛行力学	○ 井戸田典彦 高橋 賢	△ 橘 佳宏 上田千晃	安部明雄 西村寛史	亀山丈晴 藤川貴弘	山崎武志 成岡 優				
航空機設計	○ 藤田将一郎	△ 生越博景	川井 翼	田中隆道	池田光司	坂井玲太郎	正木誠一郎	佐藤拓也	
航空機重航・整備	○ 松並賀宣	△ 石井啓之	西脇 健	松野賀宣	藤巻吉博	松崎誠彦	板垣 健	河村暁子	
回転翼航空機	○ 小曳 昇	△ 石井寛一	田口正人	小室卓磨	中村瑞城	漆間 統	饗庭昌行	津田宏果	
特殊航空機	○ 山根章弘	△ 芝尾裕規	村岡浩治	中村将治	大瀧 俊	平城大典	得竹 浩	高野博行	
航空交通管理	○ 又吉直樹 和田博之	△ アンドレエバ 武市 昇	森アドリアナ 手塚聖聖	原田明德 平田輝満	栗原和彦 原田明德	中村陽一 林 潤一	住谷康弘 成岡 毅	久保宏一郎	
宇宙航行	○ 宇井恭一 山崎裕司	△ 伊海田皓史 高橋裕介	下田孝幸 新井山一樹	伊藤琢博 平山 寛	尾川順子 丸 祐介	川端裕子 田尻啓祐	北川幸樹 佐藤泰貴		
宇宙システム・技術	○ 舟生豊朗 福澤 瞬	△ 正井卓馬 渡部靖之	清兼和紘 五百木誠	今井 宏 久保岡俊宏	関口 毅 城井洋生	竹内伸介 永井大樹	勝身俊之 稲守孝哉		
宇宙利用	○ 豊嶋守生 水野浩靖 壹岐賢太郎	△ 久保岡俊宏 渡辺英幸	戸谷 剛 中谷辰爾	木村真一 宮村典秀	松本康司 寺藺淳也	大川恭志 吉田裕之	鈴木俊之 岩山曜介	遠藤稔明 島阪綾子	
電気推進・先端推進	○ 竹ヶ原春貴 西田浩之	△ 鷹尾祥典 田代洋輔	河内宏道 田原弘一	大川恭志 船木一幸	小島康平 宮坂武志	森 浩一 山本直嗣	後藤祥史		

中部支部

支部長：	児玉直樹	幹事長：	辻 浩敏						
幹 事：	青木維志 仙場淳彦	日野琢磨 関下信正	神下 理 有田祥子	丸谷恭平 苅田丈士	川崎 央 桑原大介	市原大輔 中谷 淳			
商議員：	城 伸輔 古川 隆 村上 毅 砂田 茂 海田武司 萩野 純	澤田邦夫 宮坂武志 関下信正 澤田徹哉 三原克久	伊藤彰彦 山極芳樹 小林智之 松原 功 福元正之	飯沼義和 花田佳彦 荒井政大 松島章二 加鳥裕明	溝口 治 元森 歩 石川隆司 辻本公一 早藤英俊	野久 徹 中山 昇 笠原次郎 鈴木 玄 前川明寛	佐藤光政 真栄田国男 佐宗章弘 廣瀬圭介 家田剛賢	児玉直樹 藤田 徹 長田孝二 渥美正博 山下利恵	葉山賢司 武藤 敬 原 進 櫻井啓司 米原慧紀

関西支部

支部長：	川添博光								
常任幹事：	阿部英裕	蓑田孝路	山田克彦	下村 卓	江利口浩二	田川雅人			
幹 事：	山口嘉文 芦澤 謙 坂上昇史 福田久美子	黒田 翔 湯谷洋司 金田さやか 浅尾慎一	正司 毅 服部和生 中井賢治 岸本直子	川畑成之 山縣雅紀 武石賢一郎	松岡右典 荘司泰弘 占部継一郎 酒井武治	早川昌志 杉山和晴 丸田一郎 吉岡修哉	石塚 啓 谷垣健一 福井智宏	柿本晴彦 山田克彦 山川勝史	海野貴弘 田原弘一 萩野要介

西部支部

支部長：	室園昌彦	副支部長：	外本伸治	庶務幹事：	藤田浩輝	会計幹事：	岡本覚万	監査役：	安田幸夫
常任幹事：	内堀 洋	遠藤琢磨	各務 聡	葛山 浩	金澤康次	坪井伸幸	矢代茂樹	永井弘人	
幹 事：	東 大輔 寒川義裕 藤原和人 脇 裕之	安倍賢一 串岡清則 古川雅人	池庄司敏孝 黒木博憲 松尾 繁	石井正剛 酒匂信匡 松川 豊	井上智博 下栗大右 三上真人	猪口雄三 数仲馬恋典 八坂哲雄	宇田暢秀 鷺尾良行 八房智顕	宇都宮浩司 豊田和弘 吉川浩行	大西俊輔 中山峰男 李 曄

北部支部

支部長：	内海政春								
幹 事：	山本 剛 藤田昂志 平山 寛	栞原聡文 岡島淳之介 瀬尾和哉	河合宗司 早川晃弘 寺藺淳也	野々村拓 橋本 望 武蔵昌貴	高崙浩一 三橋龍一 大村勝則	布目佳央 廣田光智	島垣 満 湊亮二郎	長谷川進 井上 翔	焼野藍子 谷口英夫

学会事務局 事務局長： 甲斐高志 事務員： 日野みどり 平出妙子 河西真己子

航空宇宙工学テキストシリーズ

空力弾性学

著者名 一般社団法人 日本航空宇宙学会 編

中道 二郎 著 玉山 雅人 著 児玉 智 著

発行元 丸善出版 発行年月日 2019年01月 判型 A5 210×148 ページ数 244 ページ

ISBN 978-4-621-30363-4 Cコード 3353

内容紹介

航空宇宙工学を初めて学ぶ大学生に向け、将来航空宇宙業界ですぐに役立つ知識に重点を置き編纂するテキストシリーズの一冊。

航空機開発においてとくに重要なフラッタ現象を中心に、空力弾性問題について纏められている。理論的な事柄から、実機の空力設計と構造設計の狭間で遭遇する実際の空力弾性問題とその対策、および実践的な空力弾性設計の手順まで解説する。



目次

- 第1章 序論
- 第2章 空気力学の整理
- 第3章 定常翼理論
- 第4章 構造振動解析
- 第5章 静的空力弾性
- 第6章 非定常空気力
- 第7章 フラッタ方程式
- 第8章 安定解析
- 第9章 フラッタ
- 第10章 フラッタシミュレーション
- 第11章 実機空力弾性
- 補遺 力学の諸原理

ご購入

ご注文方法

丸善オンライン書店

丸善・ジュンク堂書店

紀伊國屋書店

三省堂書店

有隣堂

詳しい内容は下記 URL にて

<https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/b303157.html>

航空宇宙工学テキストシリーズ

○粘性流体力学

○空気力学入門

○圧縮性流体力学

定価：本体 4,200+税